

(様式例)

令和5年度事業報告書
令和5年4月1日 から 令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 トラベルフレンズ・とっとり

1 事業の成果

高齢者や障がい者の方々の「自由に旅に出たい」のお手伝いができることへの、強い気持ちが一層大きく広がってきました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
⑨ 全国及び地方公共団体、観光事業所機関との協働連携業務	令和5年度バリアフリー観光推進事業企画運営業務 接客研修 企画立案・実施計画書 動画リモート配信	10月18日 10/18~10/25リモート配信	倉吉エキパル	24人	40人	600
⑤ 観光事業関係施設における、障がい者理解啓発及び受け入れ促進を図るためのバリアフリー接客研修業務	鳥取市男女共同参画課 接客研修 社員及び観光推進事業者向け 観光推進事業者向け接客研修	3月2日	鳥取市内 青谷かみじち史跡公園	10人	12人	110
		3月16日	和紙の館			
		2月13日	南部町会場	12人	69人	55
		2月14日	青谷会場	13人	40人	53
		2月28日	倉吉会場	13人	51人	54
3月2日	青谷かみじち史跡公園	12人	40人	53		
① 旅行者に対する相談・支援活動	旅のサポート (一社) 広島県身体障害者団体連合会 車椅子ユーザーサポート	令和5年6月14日	鳥取市 鳥取砂丘周辺	10人	10人	30
	合計			94人	262人	925

80

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額 (千円)
	実施しなかった				

(備考)

- 2の(1)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 2の(1)のうち、「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 2の(2)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。
- 2の(2)については、定款上「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。

財産目録

科 目		金 額 (単 位 : 円)		
I	資産の部			
	1 流動資産			
	現金	0		
	普通預金 山陰合同銀行 鳥取営業部	79,956		
	流動資産合計		79,956	
	2 固定資産			
	固定資産合計		0	
	資産合計			79,956
II	負債の部			
	1 流動負債			
	短期借入金(役員借入金)	50,697		
	預り金	0		
	未払金	0		
	流動負債合計		50,697	
2 固定負債				
	長期借入金	0		
	退職給与引当金	0		
	固定負債合計		0	
	負債合計			50,697
	正味財産			29,259

当法人の財産目録謄本である。

2023年度:令和5年度 特定非営利活動法人 トラベルフレンズ・とっとり
貸借対照表

科 目		金 額 (単 位 : 円)	
I	資産の部		
	1		
	現金	0	
	普通預金	79,956	
	その他(前期繰越正味財産)		
	流動資産合計		79,956
2	固定資産		
	固定資産合計		0
	資産合計		79,956
II	負債の部		
	1		
	流動負債		
	短期借入金(役員借入金)	50,697	
	未払金	0	
	流動負債合計		50,697
2	固定負債		
	長期借入金	0	
	退職給与引当金	0	
固定負債合計		0	
負債合計		50,697	
III	正味財産の部		
	前期繰越正味財産		-130,653
	当期正味財産増加額(減少額)		159,912
	正味財産合計		29,259
負債及び正味財産合計		79,956	

令和5年（2023年）度 活動計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 トラベルフレンズ・とっとり

(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	82,000	
賛助会員受取会費	20,000	
.....	0	102,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	101,416	
施設等受入評価益	0	
.....	0	101,416
3. 受取助成金等		
受取官庁助成金	75,000	
受取民間助成金	0	
.....		75,000
4. 事業収益		
接遇研修事業収益	677,000	
	220,000	
		897,000
5. その他収益		
受取利息	1	
雑収益	71,200	
前年度繰越金	14,939	
.....		86,140
経常収益計		1,261,556
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	4,469	
.....	0	
人件費計	4,469	
(2) その他経費		
外注費	608,000	
会議費	85,000	
旅費交通費	60,311	
通信費	46,617	
広告宣伝費	34,320	
接待交際費	10,175	
消耗品費	2,544	
車両費	71,388	
支払手数料	0	
賃借料	2,524	
雑費	0	
施設等評価費用	0	
減価償却費	0	
支払利息	0	
.....	0	
その他経費計	920,879	
事業費計		925,348 /
2. 管理費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	2,979	
.....	0	
人件費計	2,979	

(2) その他経費			
租税公課	22,850		
会議費	63,772		
旅費交通費	16,577		
通信費	12,283		
広告宣伝費	8,580		
接待交際費	7,486		
消耗品費	10,175		
車両費	17,847		
支払手数料	935		
賃借料	10,096		
雑費	2,716		
支払利息	0		
.....			
その他経費計	173,317		
管理費計		176,296	
経常費用計			1,101,644
当期経常増減額			159,912
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		0	
.....		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
.....		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			159,912
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			159,912
前期繰越正味財産額			-130,653
次期繰越正味財産額			29,259

計算書類の注記

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日,2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸し資産の評価基準及び評価方法 *当法人には、現在ありません。

(2) 固定資産の減価償却の方法 *当法人には、現在ありません。

(3) 引当金の計上基準 *当法人には、現在ありません。

・ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しています。

・ ○○引当金

(4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理 *当法人には、現在ありません。

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。

また計上額の計算方法は「4. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳」に記載しています。

(5) ボランティアによる^{役員}薬務の提供

ボランティアによる^{役員}薬務の提供は、「5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによって薬務の提供の内訳」として注記しています。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2 会計方針の変更

3 事業別損益の状況

*当法人は、事業を区分していない。

科目	事業	事業	事業	事業	事業部門	管理部門	合計
I 経常収益							
1 受取会費							
2 受取寄附金							
3 受取助成金							
4 事業収益							
5 その他収益							
経常収益計							
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当							
臨時雇賃金							
.....							
人件費計							
(2) その他経費							
業務委託費							
旅費交通費							
.....							
その他経費計							
経常費用計							
当期経常増減額							

4 施設の提供等の物的サービスの受入れの内容

(単位:円)

内 容	金 額	算定方法

5 活動の原価の算定に当たって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

(単位:円)

内 容	金 額	算定方法

6 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下のとおりです。

当法人の正味財産は x x x 円ですが、そのうち x x x 円は、下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は x x x 円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
鳥取市男女共同参画助成事業	0	75,000	75,000	0	助成金の総額は75,000円です。 活動計算書に計上した額 110,000円(支出)
合計	0	75,000	75,000	0	

7 固定資産の増減内訳

*当法人には、現在固定資産はありません。

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
合計						

8 借入金が増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	0	0	0	0
役員借入金	145,592	130,653	50,697	145,592
合計	130,653	50,697	130,653	50,697

9 役員及びその近親者との取引内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	うち役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金	101,416	0
委託料	0	0
活動計算書計	101,416	0
(貸借対照表)		
未払金	0	0
役員借入金	50,697	50,697
貸借対照表計	50,697	50,697

役員及び近親者との取引
ありません。

10 その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 現物寄附の評価方法 *当法人には、現在ありません。
現物寄附を受けた固定資産の評価方法は、固定資産評価によっています。
- ・ 事業費と管理費の按分方法
各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当及び旅費交通費については従事割合に基づき按分しています。
- ・ その他の事業に係わる資産の内訳 *当法人には、現在ありません。
その他の事業に係わる資産の残高は、土地、建物、棚卸し資産。
特定非営利活動に関わる事業・その他の事業に共通で使用している重要な資産 土地、建物。

2023年度：令和5年度役員名簿

特定非営利活動法人 トラベルフレンズ・とっとり

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬の有無
理事長	福井 好二		R. 5.4. 1 ～ R. 6. 3. 31	無
副理事長	石田 敏光		R. 5.4. 1 ～ R. 6. 3. 31	無
理事 BFTC長	藤原 美香		R. 5.4. 1 ～ R. 6. 3. 31	無
理事	宮本 立史		R. 5.4. 1 ～ R. 6. 3. 31	無
理事	森 康貴		R. 5.4. 1 ～ R. 6. 3. 31	無
理事	前田 栄		R. 5.4. 1 ～ R. 6. 3. 31	無
理事	赤澤 悦子		R. 5.4. 1 ～ R. 6. 3. 31	無
監事	木村 貴憲		R. 5.4. 1 ～ R. 6. 3. 31	無
監事	杉本 雅史		R. 5.4. 1 ～ R. 6. 3. 31	無

